

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe
製品コード	VCK-101, VPM-501, 484, 452, 484A
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	RT-PCR法によるSARS-CoV-2 RNA変異株の検出(研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
健康有害性	酵素液および前処理液に含まれるグリセロールには、皮膚刺激性、眼刺激性がある。危険有害性の調査が十分でなく、取扱に注意する。

GHS分類

		<酵素液>	<前処理液>
物理化学的危険性 健康有害性	引火性液体	区分外	区分外
	急性毒性(経口)	分類できない	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
	眼損傷・眼刺激性	区分2B	区分外
	呼吸器感受性	分類できない	区分1
環境有害性		分類できない	分類できない
物理化学的危険性 健康有害性	引火性液体	区分外	区分外
	急性毒性(経口)	分類できない	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
	眼損傷・眼刺激性	区分2B	区分2B
	呼吸器感受性	分類できない	区分外
環境有害性		分類できない	区分外

ラベル要素

	<酵素液>
絵表示又はシンボル	-
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	【安全対策】 取り扱い後は手をよく洗う。 【応急措置】 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe

整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日



安全データシート

SDS No.3289A

絵表示又はシンボル
注意喚起語

〈前処理液〉
健康有害性
危険



危険有害性情報
注意書き

- 【安全対策】 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
呼吸用保護具を着用する。
- 【応急措置】 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡する。
- 【廃棄】 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

〈反応液〉
-
警告
眼刺激

- 【安全対策】 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用する。
取扱後は手をよく洗う
- 【応急措置】 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける。

絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

〈プライマー・プローブ液〉
-
警告
眼刺激

- 【安全対策】 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用する。
取扱後は手をよく洗う
- 【応急措置】 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける。

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物 化学特性 パーツ名	混合物 酵素、基質等の水溶液 主要成分	CAS No. (EC No.)
酵素液	DNAポリメラーゼ リバーストランスクリプターゼ リボヌクレアーゼ阻害剤 トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン 塩化カリウム ウラシルDNAグリコシラーゼ グリセロール ジチオスレイトール ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	(EC 2.7.7.7) 9068-38-6 - 77-86-1 7447-40-7 59088-21-0 56-81-5 3483-12-3 9005-64-5
前処理液	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン グリセロール 塩化カルシウム 添加剤A	77-86-1 56-81-5 10043-52-4 非公開
反応液	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン デオキシアデノシン三リン酸 デオキシチジン三リン酸 デオキシグアノシン三リン酸 デオキシウリジン三リン酸 ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニル = エーテル ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート 硫酸アンモニウム 添加剤B	77-86-1 1927-31-7 102783-51-7 93919-41-6 102814-08-4 9016-45-9 9005-64-5 7783-20-2 非公開
プライマー・プローブ液	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン デオキシリボ核酸 エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム 添加剤B	77-86-1 - 6381-92-6 非公開

危険有害成分

化学名又は一般名	グリセロール	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニル = エーテル
別名	グリセリン	ノニデット P-40
CAS番号	56-81-5	9016-45-9
官報公示整理番号 化審法	2-242	7-172
安衛法	公表	公表
含まれるパーツと濃度範囲	酵素液:50% 前処理液:1~10%	反応液、酵素液 :0.01%未満
化学名又は一般名	添加剤A	添加剤B
別名	非公開	非公開
CAS番号	非公開	非公開
官報公示整理番号 化審法	非公開	非公開
安衛法	あり	あり
含まれるパーツと濃度範囲	前処理液:< 0.9 %	反応液:5~10% プライマー・プローブ液: ≤10%

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水と石鹸で洗う。汚染された衣類はすべて脱ぐ。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断、手当てを受ける。無理に吐かせない。

5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
特有の危険有害性	火災時に一酸化炭素及び硫黄酸化物を含む有毒ガスが発生する。
特有の消火方法	消火作業は風上側から行う。
消火を行う者の保護	大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。
環境に対する注意事項	環境中へは直接廃棄しない。
封じ込め及び浄化方の方法及び機材	可能な限り、砂または他の不燃性吸着剤に吸着させて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	使用時は適切な保護具を着用し、眼、皮膚、衣服に接触しないように注意する。
安全取扱い注意事項	炎・火花または高温体との接触を避ける。 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。 取扱い後は手をよく洗う。
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	密封容器にて-20°C±5°Cで保管する。
安全な容器包装材料	本製品に使用されている容器内で保管する。

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策
許容濃度

全体換気及び局所排気設備を設置する。

グリセロール ポリ(オキシエチ 添加剤A

(ミスト) レン)=ノニル
フェニル=エー
テル

添加剤B

日本産業衛生学会勧告値
ACGIH TLV
OSHA PEL

未設定

未設定

未設定

未設定

未設定

未設定

未設定

未設定

total dust :

未設定

未設定

未設定

15mg/m³TWA

respirable fr. :

5mg/m³TWA

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

有機ガス用防毒マスク、又は防じんマスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。

必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)

常温で液体。酵素液は-30°C以下、0°C以下で固体。プライマー・プローブ液は薄い青紫色、その他のパーツは無色透明。

臭い

全てのパーツで臭いはほとんどない。

pH

6.0~9.0

引火点

酵素液は水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後177°Cの引火点を持つグリセロールが残留する。

爆発特性

常温では爆発性はない。

密度

データなし

溶解性

水に可溶

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

酵素液は燃焼時に、一酸化炭素が発生するおそれがある。

避けるべき条件

高温、直射日光、火災などによる強熱

混触危険物質

強酸化剤、還元剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、硫黄酸化物

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

11. 有害性情報

急性毒性	データなし	
皮膚腐食性及び刺激性	皮膚を刺激することがある。	
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	眼の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こすおそれがある。	
呼吸器感受性	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある。	
各成分の有害性情報	グリセロール	ポリ(オキシエチレン)＝ ノニルフェニル＝エーテル
急性毒性	マウス経口:4090 mg/kg ラット経口:12.6 g/kg	エチレンオキシドの付加モル数により、毒性値が著しく異なる。 1300mg/kg(付加モル数10の場合)、15900mg/kg(付加モル数20の場合)。
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	付加モル数2～9の場合の原液が中程度から強度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	付加モル数2～15の場合の原液が中程度から強度の刺激性
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない
急性毒性	添加剤A データなし	添加剤B マウス経口:7920mg/kg ラット経口:14500g/kg
皮膚腐食性及び刺激性	皮膚刺激(区分2)	ウサギ:500mg/24hr:Mild
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	強い眼刺激(区分2A)	ウサギ:500mg/24hr:Mild
呼吸器感受性	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ(区分1)	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	呼吸器への刺激のおそれ(区分3)	データなし
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない

SARS-CoV-2 Detection PCR Core Kit, SARS-CoV-2 Variant Primer・Probe



整理番号:3289A

作成 2021年5月1日

改訂 2022年02月02日

安全データシート

SDS No.3289A

15. 適用法令

含有する成分には下記の法規制情報がある。

	グリセロール	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニル=エーテル
化審法(特定化学物質/監視化学物質)	該当しない	優先評価化学物質
化学物質管理促進法 指定化学物質(政令番号)	該当しない	第一種指定化学物質
労働安全衛生法	該当しない	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない	該当しない
消防法	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体	該当しない
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質 (Z類物質等)	施行令別表第1有害液体物質 (Y類物質)
欧州REACH規制	該当しない	高懸念物質
	硫酸アンモニウム	添加剤A
化審法(特定化学物質/監視化学物質)	該当しない	該当しない
化学物質管理促進法 指定化学物質(政令番号)	該当しない	該当しない
労働安全衛生法	該当しない	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない	該当しない
消防法	該当しない	該当しない
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質 (Z類物質等)	該当しない
水質汚濁防止法	法第2条、施行令第2条、排水 基準を定める省令第1条	該当しない
欧州REACH規制	該当しない	該当しない

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。